

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		修学旅行等事業費 [修学旅行の介助員任用事業、看護師派遣事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	6			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務		課		学務		係	課長名	斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	修学旅行等に参加した児童・生徒				修学旅行等に参加した児童・生徒数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
安全かつ安心して修学旅行等に参加してもらう。				修学旅行等に参加した児童・生徒数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①修学旅行等の実施時に児童・生徒の安全を図るため、介助員を任用する ②修学旅行等の実施時の児童・生徒の健康管理や病 気・けがの応急処置に対応するため、付添看護師派遣 事業の委託契約を行う				①介助員(会計年度任用職員)任用者数 ②看護師派遣日数							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	2,602	0	1,050					
	成果指標	②の数値	人	2,602	0	1,050					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
目標値設定の考え方											
全ての児童・生徒が修学旅行等に安全かつ安心して参加できるようにする。											
活動指標		③の数値	①人 ②日	①14 ②44	①0 ②0	①8 ②32					
3 経費	事業費(実績)		円	3,092,042	0	1,625,961		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	一般財源		円	3,092,042	0	1,625,961					
	特定財源(国・都・他)		円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	所要人数(再任用以外)		人	0.0	0.1	0.1					
	所要人数(再任用)		人	0.2	0.0	0.0					
	職員人件費(再任用以外)		円	0	0	825,000					
職員人件費(再任用)		円	783,400	0	0						
事業費+人件費		円	3,875,442	0	2,450,961						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成4 年度								
	(2) 環境の変化 修学旅行等の看護師派遣事業については、短期間の雇用で対応してもらえる看護師の確保が困難であることから、委託契約による派遣事業を開始した。 近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、修学旅行等の日程を延期又は修学旅行等の実施そのものを見送らざるを得ない状況が発生している。										

事業名称	修学旅行等事業費 [修学旅行の介助員任用事業、看護師派遣事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 短期間（3～4日程度）で雇用できる看護師が確保できれば低コストで事業を実施できるが、これまでの経緯を踏まえると、このような雇用形態の看護師を探すことは困難である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 他自治体における修学旅行等の付添看護師等について、引き続き、取組方法等の情報収集に努めた。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 看護師派遣事業を委託契約することは、新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行等の日程に変更が生じた場合であっても、人材確保のリスクを軽減することができるが、その一方で委託契約により看護師の確保に係る経費が増加することから、安全・安心かつ低コストで修学旅行等が実施できる仕組みを整備する必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 宿泊を伴う修学旅行等の実施にあたり、児童・生徒の健康管理や病気・けがの応急処理、移動中の介助等の対応のため、看護師や介助員の確保が必要不可欠である。そのため、引き続き適切に人材確保を行うとともに、経費削減につながる方策を検討する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	他自治体における修学旅行等の付添看護師等について、引き続き、取組方法等の情報収集に努める。				